

コレット『シェリ』に見る女性の生き方

聖教新聞 2010年9月28日(火)

ベル・エポック。日本人はこのことばが大好きなようで、ネットで検索すると美容院、お菓子屋、レストランと、無数にこの名を冠したサイトが現れる。

「うるわしき時代」という意味のこの語は、じっさいは十九世紀末から二十世紀初頭のフランスを指している。独仏戦争の敗北から第一次世界大戦に突入するまでの、世紀末をはさんだ二、三十年。フランスが平和と繁栄を謳歌した時代だ。ナポレオン三世が企図した対外拡大政策がようやく実って植民地から莫大な利益がもたらされ、科学技術の発展で国民生活も文明の光に包まれた。パリにエッフェル塔が建ち、鉄道交通網は飛躍的に拡大して、世界各地から観光客が訪れた。

そんななか、フランス女性の生き方も大きな変化を見せていた。

十九世紀の貴族・ブルジョワ社交界がたちかかったエレガンスを受け継ぎながらも、女たちは自分の頭で判断し、自分の足で歩き始める。言ってみればサロンの女主人とウーマン・リブの中間的存在、その両方の特質を備えた女性像が出現するのである。

たとえば十九世紀の小説家、ゾラやバルザックが描いた女性は、堅実そのもの家庭婦人か、あるいは男性に愛玩され夢を見せる代償に彼らを破滅させるココット(高級娼婦)か、そのどちらかだった。別の言い方をすれば、男性にとって女性はその二種類しかなかったのだ。十九世紀まで小説家はほとんどが男性だったから、男性の視点でしか描かれなかったということもある。が女性のほうでも、男にとつての自分という意味でしか、自己アイデンティティを持つと

コレット『シェリ』に見る女性の生き方

聖教新聞 2010年9月28日(火)

うとしなかった。

ところがベル・エポックになると、自由奔放に欲望を追求しながら、しっかり自分の人生を設計し実現する女性が現れる。文学で言えば、そんな自立した女性を妖艶に、しかも潔く描いたのがシドニー・ガブリエル・コレットである。

コレット(一八七三〜一九五四)の青春はまさにベル・エポック真っ盛りだった。若くして結婚し、作家デビューしたが、その後もミュージック・ホールの舞台に上がったり、新聞記者として従軍したり、ちよっと林芙美子のフランス版といった感じの女流作家だ。自身することもしたし、見るものも見た。そんな広い視野でコレットが描いた女性には、この時代の女性ならではの艶やかさと活力、そして揺るぎない自立心がある。

たとえば彼女の代表作『シェリ』。ココットとして相応の財をなし、いまは引退して悠々自適の生活を送るヒロイン、レアに、ココット時代の友だが、息子を一人前の男にしてほしいと相談を持ちかける。こうしてレアは息子ほども年下の青年と恋愛関係に入るのだ。

若さに輝く美貌の青年シェリ(可愛い男)。納得づくの間柄とはいえ憎からず思う相手に、当然のことレアの心は揺れるが、けっして情愛に流されはしない。女の武器を老練な知恵でコントロールしつつ、何とも粹でしたたか、そしてちよっぴり切なく修羅場を切り抜ける。

やがて当然予想されたように、彼に結婚話が持ち上がった…。

コレット『シェリ』に見る女性の生き方

聖教新聞 2010年9月28日(火)

ちなみに若い男と年上の女の恋愛は、日本ではいまも好奇の目で見られがちだが、フランスの上流社会では、よくあること。社交界と離婚を許さないカトリックが生み出した裏制度とあっていいが、いまは残念ながらその仕組みを解説している余裕がない。

話を『シェリ』に戻せば、読む側が年を重ねるほどに理解が深まり、味わいを増す小説である。年齢とか肉体の美しさ、そして老いといったことについて、男性作家たちの眼が到達しえない機微には感服させられる。少々の苦みもあるが、それもまた味のひとつだ。

その『シェリ』がこのほど映画になった。レア役のミシェル・ファイファー、シェリ役のルパート・フレンドもすてきだが、それにもまして周辺の小道具やちよつとした会話の奥が深く、すばらしい見応えである。

たとえば中年女性のおしゃれ談義やその隠れ技、はたまた男のあしらい方、そして経済。女が一人で魅力的に生きていくためには何が必要か、なかなかデリケートな部分について仕草や表情が多くを語っている。

日本も最近では女性の活躍がめざましい。選択の幅も広がって、愛情とキャリアと趣味の三兎を追うことができ、さほど難しいことではなくなりつつある。だがそんな女性たちも、この映画を見たら、女の生き方について、まだまだ学ぶことは多いと感じるはずだ。

コレット『シェリ』に見る女性の生き方

聖教新聞 2010年9月28日(火)

附記 (二〇一〇年五月二二日)
今また作者のコレットが主人公の映画が出来たらしい。もしかすると『シェリ』よりもっと大胆で刺激的かも。コロナショックが一段落したら見に行こうかな。